

福祉民生常任委員会行政視察報告

福祉民生常任委員会は、平成30年5月15日から17日までの日程で、北海道小樽市「小樽市ふれあい収集について」及び北海道旭川市「市立旭川病院における地域包括ケア病棟設置の経緯と概要について」行政視察を行いました。

小樽市は、高齢・病氣・身体障がいなどの理由で、ごみステーションに家庭ごみ・資源ごみが出せない世帯を対象に、安否確認を行うと共に、ごみ収集サービスの一環として、ふれあい収集を平成17年4月から実施しています。本市も高齢化が進み、ごみ出しが困難な高齢者や障がい者に優しいごみ収集サービスの実施が必要だと感じます。参考にしていきたいと思えます。

市立旭川病院は、市民から信頼される病院を基本理念として、団塊の世代が75歳以上を迎える2025年を目途に、重度な要介護状態でも住み慣れた地域で暮らし続

けることができよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供できる地域包括ケア病棟を設置しています。その役割は、急性期治療を経過した患者及び、在宅において療養を行っている患者等の受け入れ、並びに患者の在宅復帰支援を行うレスパイト機能を有しているとのことでした。

公立碓氷病院は、地域包括ケア病棟を新設し、レスパイト入院を導入しました。充実させるために参考にしていきたいと思えます。



地域包括ケア病棟について学ぶ（旭川市）

経済建設常任委員会行政視察報告

5月15日から17日までの日程で、北海道苫小牧市の「観光振興ビジョン」と名寄市の「ご当地グルメ推進事業」について、先進地の取り組みを本市に活かすため行政視察を行いました。

苫小牧市は、観光振興の進むべき方向性とあり方を示し、施策の体系的な展開を図る為、平成28年2月に「苫小牧市観光振興ビジョン」を策定し、「地域の魅力の有効活用」、「まちぐるみでの観光推進」、「新たな魅力づくり」の3つの目標の達成に向けて各種施策を展開することで、交流人口の増加による地域経済の活性化を目指した取り組みを行っています。食のブランド化を推進し道の駅「ウトナイ湖」を観光拠点として整備したり、フィルムコミッションの誘致等、積極的な取り組みが大変参考になりました。

名寄市は、「なよろ煮込みジンギスカン」によるご当地グルメ推進

事業に取り組み、商工会議所青年部を主体に4つの組織が連携し、平成24年7月4日に、第746なよろ煮込みジンギスカン艦隊を設立し、グランプリ系イベントに参加して好成績を上げています。名寄駅前「よろーな」も同年に建設し、駅前交流プラザとして各種イベントができるエントランスホールや大小の会議室等を利用し賑わい創出事業を行っています。本市も参考にしたいと思えます。



ご当地グルメ推進事業について学ぶ（名寄市）